

令和2年度第1回学校運営協議会報告（広尾小学校）

令和2年6月18日（木）19：00 広尾町コミュニティセンター

高橋校長先生から学校運営の基本方針「令和2年度重点教育目標・教育課程、学校経営計画」が示され、承認されました。

次に、熟議を行い「地域や家庭における方策」について意見交流しました。実行策は次回の学校運営協議会で決定します。



協議会には、北海道教育庁十勝教育局社会教育指導班の佐々木直人主査と山崎浩二社会教育主事が来町し、熟議等の様子を参観しました。

令和2年度 重点教育目標と育成を目指す資質・能力等

広尾小学校

1 重点教育目標

「めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる」

育成を目指す資質・能力

- (1) 読むことや書くことを通して、学年に応じた基礎的基本的な知識・技能を確実に身に付ける。
- (2) 課題や問題を互いに協力して解決したり、まとめたりして思考力・判断力・表現力を身に付ける。
- (3) 自分のよさに気づき、相手のよさを認め、将来の夢に向かって生きる姿勢を身に付ける。

2 各教科等における指導の重点

(1) 知識及び技能の習得

読むことを通して、語句の量を増やし、話や文章の中で使えるようにする。(国語)

広尾町の自然や産業についての知識を豊かにする。(社会、総合的な学習の時間)

既習内容をもとに、適切な手順により答えを導こうとする技能を身に付ける。(算数)

(2) 思考力、判断力、表現力等の育成

目的を意識し、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝え合う力を養う。(国語)

見学や調査をしたり、各種資料で調べたりして分かりやすくまとめる力を養う。(社会、総合的な学習の時間)

目的に応じてデータを集めたり、整理したりして、問題を解決するための判断力を養う。

(算数、理科)

(3) 学びに向かう力、人間性等の涵養

地域とのつながりを生かしながら、郷土愛をもって主体的に学ぶ態度を養う。(社会、総合的な学習の時間)

自分のよさを生かしながら、仲間と協力し、助け合う態度を養う。(道徳、行事)

学ぶことの意義や将来への夢や目標をもち、自己実現に向けてよりよい学校生活を送ることができる。(特別活動)

(広尾小学校運営協議会資料)

教育資源を最適化する学校経営計画

広尾小学校

令和2年度 重点教育目標 「めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる」		
項 目	取 組	備 考
校長 教頭	・重点教育目標の具現化、具体化の方策を的確に示す。	
	・重点教育目標の達成に向けた取組を保護者、関係機関に示す。	
	・計画的な学校評価の実施により、経営計画の改善に努める。	
	【自己評価】	
教務部	・指導の重点項目の授業時数を確実に確保する。	
	・文章を読む活動を積極的に授業の中で取り入れるモデル化を図る。	
	・道徳教育の重点に、「思いやり」「感謝」を設定し、指導計画、教材を提示する。	
	・学習規律の見直しと指導の徹底を図る。	
【自己評価】		
指導部	・助け合い、支え合いを重点とした生活指導に努める。	
	・命を守る意識を大切に、安全指導や防災教育を推進する。	
	・めあてを明らかにした児童会活動を意図的に計画する。	
	【自己評価】	
保体部	・めあてに合わせた体力づくり活動の推進計画を作る。	
	・「ふるさと給食」を生かした食の指導を推進する。	
	・地域と連携した体育的行事の企画、運営に努める。	
	【自己評価】	
研修部	・授業公開を中心にした校内共同研究を推進する。	
	・教務部と連携し、広尾小授業スタイルのモデル化を進める。	
	・各種研修会や研究会への意図的な参加による教育研修の充実を図る。	
	【自己評価】	
事務部	・児童用PC、タブレットの管理や修繕に努める。	
	・重点教材、備品の活用に応じた購入・整備に努める。	
	・安全安心な教育環境づくりに努める。	
	【自己評価】	

（広尾小学校運営委員会提資料）

人生の先輩（親・祖父母の話）（地元の話、自慢話）

人生の先輩の話を活字にまとめ、「広尾OB新聞」として感想コンクールを行う。

海の町を意識できる取組

めあてをもってやりぬいた証で達成感

夢や目標を仲間と話し合う時間をつくる。

地元出身の大先輩にはすごい人がたくさんいます。そういう方の体験を聞いて目標をもってください。

人生の先輩の話が面白いと思う。20代くらいの広尾出身で活躍されている方のお話しもまた面白いと思います。

上空からの写真を使って魚探するゲームをする。

ふるさと自慢写真コンクール（小～高）

目標を達成し長所を伸ばす取組

興味のあること、それを伸ばしてあげる。

家族の交流
（週1回、家族で話し合う日）
（題目を決める）

先人の遊び方を体験

地産地消への取組、地元愛をもつために

将来の夢や希望をもたせる取組

読解力が弱い→個性の強調

自分を知る取組（長所、短所、好きなこと、嫌いなこと、何でもよいので）

家族一人一人のよさを実感することから「自分のよさへ」

家庭での手伝い（仕事）

読書の楽しさを知る取組

家庭学習（音読）（タイムを計ってゲーム感覚の学習）

親、お年寄りには自分に色々なことを教えてくれます。自分はお年寄りに何が出来るか考える。

自分の体は自分で守ることができる。（最近は特に）

コロナで休学していた近所の学生さん、自宅の仕事を進んで手伝い感動しました。やっぱり、小さいころからの手伝いはさせるべきですね。

自分磨きをしているか？言うより行動しているか？

当たり前のこと（常識やモラル）をしっかりできているだろうか？

